

## 鈴木大地スポーツ庁長官が部活動を視察

19日、杉並区立松溪中学校（荻窪2-3-1）に、鈴木大地スポーツ庁長官が、ソフトテニスなどの部活動の視察に訪れました。これは、杉並区が今年度から本格実施している部活動の指導を外部の団体に委託する「部活動活性化事業」を視察することが目的で、鈴木長官は生徒たちの話にも熱心に聞き入っていました。

中学校の部活動は、生徒数の減少等により、従来の顧問教員による部活動の存続が困難になっています。杉並区では、顧問教員による指導ができない土・日曜日、祝日等に、専門性の高い民間団体に練習指導を委託する「部活動活性化モデル事業」を、平成25年～27年に実施してきました。

教育委員会は、今年度から、平日の指導や試合への帯同にも拡大し、「部活動活性化事業」として取り組みを本格実施させています。

19日午後4時30分、杉並区立松溪中学校の校庭には、女子ソフトテニス部の生徒29名が練習に励んでいました。女子ソフトテニス部では、平成25年7月から月に2回程度、外部のコーチの指導を受けてきました。今日は、浅川陽介さん（37歳）が、サーブのコツなどを指導。鈴木長官は、その指導を真剣に見守るとともに、コーチや生徒から現在の部活動の状況や効果、感想などの話を直接聞いていました。



学校では、生徒数の減少に伴って教員の数も減り、その結果、教員一人ひとりが担うべき仕事が増大しています。経験のない種目の部活動指導を担当するケースもあり、こうしたことの対策の一つとして、区が行っている民間団体等による専門コーチの指導を鈴木長官が視察することとなりました。

鈴木長官は、顧問教員の指導する野球、バスケット、卓球、バレーボールのほか、美術部、吹奏楽部などの練習も勢力的にご覧になり、顧問教員や地域のボランティアである外部指導員の話に熱心に耳を傾けておられました。

### 【問い合わせ先】

教育委員会学校支援課：3312-2111 内線1641